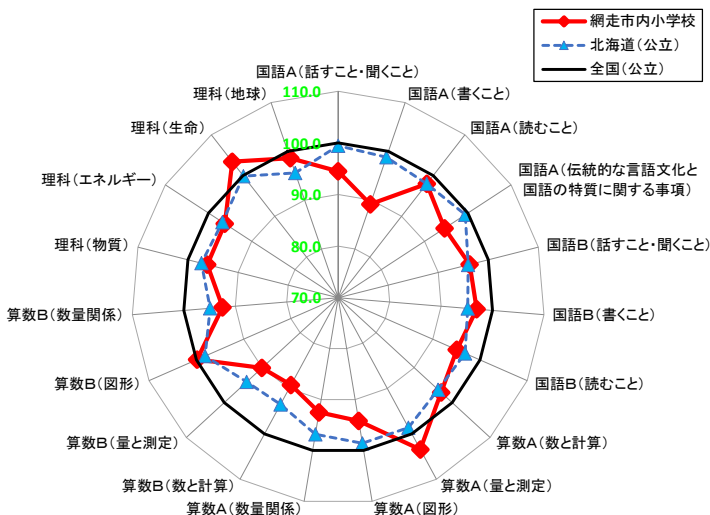


■網走市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9校、児童数:260人)

【教科全体の状況】

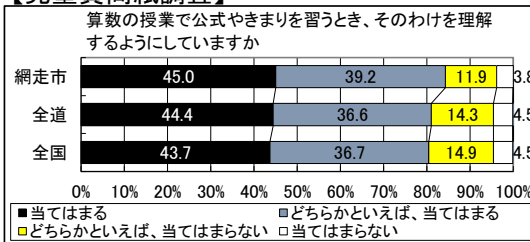
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



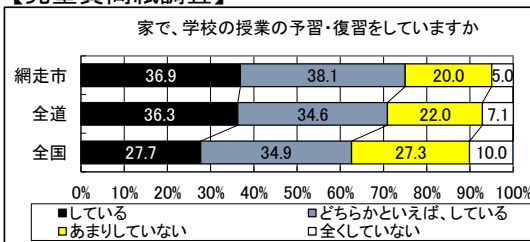
【網走市の平均正答率】

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
網走市	67.0	52.5	62.2	47.8	59.6
北海道	70.1	52.7	62.2	48.7	58.8
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

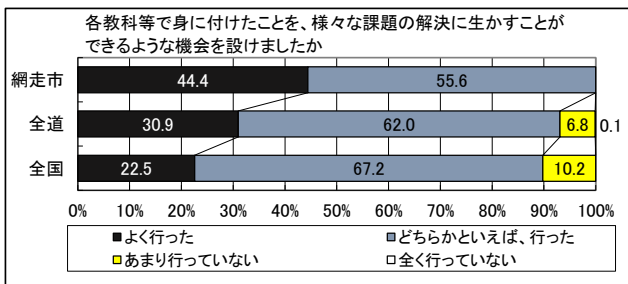
【児童質問紙調査】



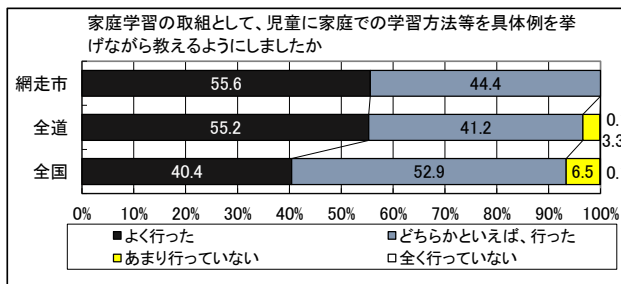
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「生命」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けるなどの授業改善の取組が進められたことにより、「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童に家庭での学習方法等について具体例を挙げながら指導を徹底したことにより、家で、学校の授業の予習・復習に取り組むなど、家庭習慣の定着が図られたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

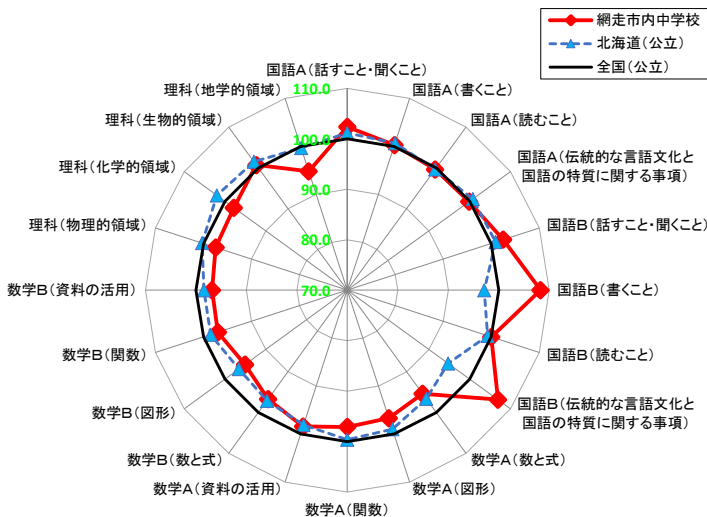
【網走市の学力向上策】

- ◎ 市内全校の公開研究会の実施及び各研究会や研修会への教職員の参加などによる学習指導方法の工夫改善の取組
- ◎ 基礎・基本の定着に向けた算数科における学習支援員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 家庭における学習習慣を確立するための生活リズムチェックシートの積極的な活用
- ◎ 自分の考えを文章で表現する市読書感想文コンクールの実施
- ◎ ICT機器を活用した効果的な授業改善を推進するための実物投影機と大型テレビの設置

■網走市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、生徒数:285人)

【教科全体の状況】

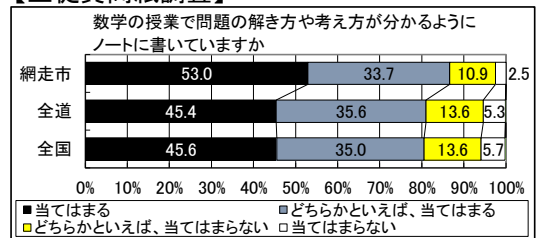
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



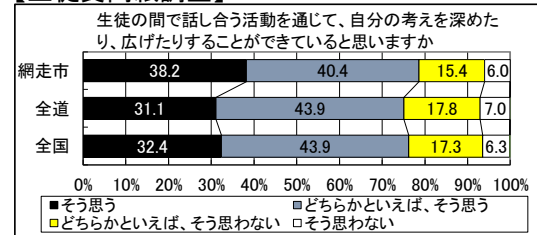
【網走市の平均正答率】

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
網走市	76.1	61.8	63.8	45.2	64.7
北海道	76.6	61.2	64.9	45.8	66.7
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

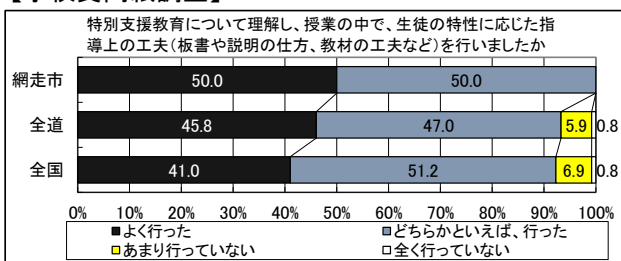
【生徒質問紙調査】



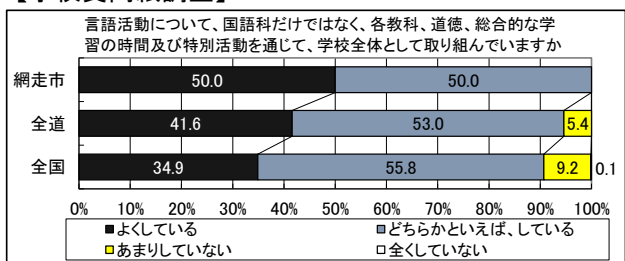
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 国語Aでは、「書くこと」、Bでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 板書や説明の仕方、教材の工夫など、生徒一人一人の特性に応じた指導や支援の充実を図ったことにより、「授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科では、「生物的領域」で全国を上回っている。 ○ 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体で言語活動の充実に取り組んだことにより、生徒は友達との対話的な活動とおして、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が図られていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでだ」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【網走市の学力向上策】

- ◎ 市内全校の公開研究会の実施及び各研究会や研修会への教職員の参加などによる学習指導方法の工夫改善の取組
- ◎ 基礎・基本の定着に向けた数学科における学習支援員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 家庭における学習習慣を確立するための生活リズムチェックシートの積極的な活用
- ◎ 自分の考えを文章で表現する市読書感想文コンクールの実施
- ◎ ICT機器を活用した効果的な授業改善を推進するための実物投影機と大型テレビの設置